



←毎年、楽しみにしているシュンランが今年も咲いた。地味な花だが、春になったことを告げる貴重な花だ。

→クマがお客さんについて渡し舟に乗った。お客さんが喜んで相手をしてくれる。

暖かい日曜日。矢切の渡しの冬季営業はこの土日で修了する。

来週からはいよいよ毎日の営業になる。つまり雨天、強風、あるいは江戸川の増水時以外は毎日、舟が出る。

そんなわけで今週は矢切のマスコト犬であるクマの話をしてみよう。

クマは現在、十歳だ。母親はスコットランドの牧羊犬コーギー。父親は天然記念物に指定されている山梨県の甲斐犬だ。

ひよんなことから飼い主どうしが散歩の途中に出くわし、立ち話をしていくあいだに交尾をしまい産まれたミックス犬だ。

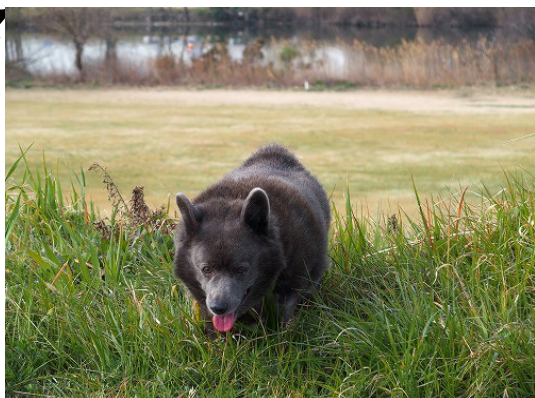
今年で十歳になる。もらわれて来た当初はやせっぽちでかわいかったがいまでは訪れる人の多くが、

「太りすぎじゃないの？」  
と、いう。

けっしてそんなことはない。大きくなるたびに母親のコーギーの特徴がでてきたにすぎない。体色は父親の甲斐犬の特徴である茶系統。顔は日本犬らしさをしている。

## 今週のクマ

→江戸川堤防の上で遊ぶクマ。うしろに白く見えるのが江戸川。その中間がゴルフ場



→春と秋、年に二度咲くボケの花。みんな東に向かって花を開く。朝日をいっぱい浴びるためなのだろう。



私が行ったときは舟頭さんがリードをはなしてくるので矢切の渡しを自由に動きまわっているが、ときどき愛犬を連れたお客さんがくると、猛烈に吠えてご主人に忠誠を示そうとする。

今日は夜のうちに江戸川堤防の上にいる野良猫が下り来ていたとかで、竹藪のなかをしきりに探しまわっていた。いつもだったら私が行くとそばを離れないのだが、この日ばかりはいつもとようすが違っていた。

そうかと思うと、気に入ったお客さんがくるとあとを追って一緒に舟に乗る。今朝も乗って対岸まで行って来た。

不思議なもので柴又側まで行っても、けして上陸はしない。どんなに気に入っただ人でも舟を下りると見送って、自分はそのまま戻ってくる。

自分は矢切の渡しのマスコット犬だと自覚しているのだろうか。

最近では食べ物を与えるときに、指を一本だすと一回鳴く。二本だすと二回鳴く。三本だすと三回、四本だすと四回。ここまで覚えた。けっこう利口なのだ。

午前中はこうして矢切の渡しを自由に動きまわってすごすのがクマの日課だ。